

- 1 単 元 みんなのあんしんプロジェクト  
～誰もが安心して過ごせる学校や町をつくろう～
- 2 単 元 の 目 標
- ・ 身の回りの人権課題を見抜き、課題を解決する方法を考え、整理した情報を表現する力を身に付けさせる。
  - ・ 障がいのある人や、性で悩んでいる人の思いについて学び、誰もが安心して過ごす人づくりや町づくりのためのアイデアを発信する活動を通して、必要な資質・能力を身に付けさせる。
- 3 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習2－(2)－イ
- 4 展 開

児童の活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価 (※)
<p>1 アンケート結果を基に、自分たちの意識について話し合う。<u>つかむ</u> 【個→全】</p> <p>2 4つの性について聞き、性で悩んでいる人がいることを知る。<u>知る</u> 【全】</p>	<p>○ アンケートの結果から分かることを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚式の写真を見て「いいと思う」と考えている子が多い。</li> <li>・ 「おかしい」「気持ち悪い」「なぜ?」と考えている子もいる。</li> </ul> <p>○ ゲストティチャーのお話を聞きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>からだの性＝身体的性別 (性器・染色体)                      こころの性＝性自認 (自分への認識)                      好きになる性＝性的指向 (恋愛対象)                      表現する性＝性表現 (服装や話し方)</p> </div>	<p>○ 事前アンケートで「男性どうし(見た目)の結婚式の写真を見てどう思うか」について聞いておく。</p> <p>○ 差別用語やその人を傷つけることばは、言うてはいけないことばであることを押さえる。</p> <p>○ ゲストティチャーの話を聞き、4年生での学習をふり返るとともに、性には多様なとらえ方があることを知る。</p>
<p>性についてどんな悩みがあるのかを予想し、生きやすくなるためにどうすればよいのかを考えよう。</p>		
<p>3 性について、どのような悩みがあるのかを考え、話し合う。<u>さぐる</u> <u>見つける</u> 【個→班→全】</p> <p>4 ゲストティチャーの話を聞き、本時の学習をふり返る。</p>	<p>○ 性について、どのような悩みがあると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の「こころの性」や「好きになる性」を人に知られるのが怖い。</li> <li>・ 周囲の人に傷つけられたり、いじめられたりしないか不安。</li> <li>・ 家族や友だちに理解してもらいたいけど、伝えるのが怖い。</li> <li>・ トイレや更衣室、温泉やプールを使いにくい。</li> </ul> <p>○ 性に悩む人たちがどうしたら生きやすくなるのかを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 違いを認める雰囲気大切にする。</li> <li>・ 「誰もが使えるトイレです」のような表示を増やす。</li> <li>・ 男女で分けない制服や水着を使う。</li> <li>・ 多様な性があることを正しく知る。</li> <li>・ それぞれの好みや生き方を認める学校や社会をつくっていく。</li> <li>・ 性に悩んでいる人も自分の生き方に自信をもつ。</li> </ul> <p>○ 最後にゲストティチャーのお話を聞いて、今日の学習をふり返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなが安心して生活できる学校や社会をつくっていきたい。</li> </ul>	<p>○ 個人思考の時間をじっくりとる。考えが浮かばない児童には、「自分が思う性がからだの性と違っていたら?」など、具体的に問いかけ想像させる。</p> <p>○ 学校にも、性で悩んでいる児童がいることが考えられる。そのことを伝え、自分事として考えようとする意欲をもたせる。</p> <p>○ 発表させ、「悩んでいる本人がすること」「周りの人がすること」「国や社会がすること」に分けて板書する。</p> <p>○ 性に悩む人が生きやすい社会をつくるのが、みんなが生きやすい社会につながっていくことを押さえる。</p> <p>※ 性の多様性について学んだことを生かし、悩み事や生きやすくなる方法を自分なりに考えようとしている。 【発言・ワークシート】</p> <p>○ 悩んでいる本人が頑張らなければならない社会ではなく、周りの理解や考える努力こそ必要だと気付かせ、次時への学習へとつなげていく。</p>